

## 平成 27 年度 事業計画

(自平成 27 年 4 月 1 日～至平成 28 年 3 月 31 日)

### まえがき

政府は経済再生を重点政策にかかげ、経済・産業政策の効果が次第に表れているところであるが、電力関連分野への東日本大震災の影響は大きく、電気学会を取り巻く事業環境は長期にわたり厳しさを余儀なくされている。

その一方で、持続可能なエネルギー環境の実現に向けてのスマートコミュニティや、インフラシステムの整備などにおいてはグローバルなレベルにおいて電気工学関連分野の貢献と先導的かつ積極的な展開が期待されている。このため、学会活動をよりオープンなものとして学協会間の協力や新たな産業界や海外からの参加を拡大してゆくことが必要と考えられる。

電気学会は、現代社会のあらゆる分野に深い関わりを持つ電気技術の一層の発展を図りつつ、会員へのサービス向上、健全な財政をめざす必要があるとの認識に立ち、今後重点的に取り組む必要のある活動を明確にするため、平成

26 年 7 月 25 日理事会においてグランドデザインのレビューを行い、以下に示す、「行動目標と重点的に行うべき 4 つの活動」を決定し、今後この方針に沿って事業を進めてゆくため個別のアクションプラン検討・実施を進め、以降の事業に随時反映することとした。

【行動目標】「会員に魅力ある場を提供する」

「豊かで安心安全な社会、持続的発展が可能な社会の実現に貢献する」

【重点的に行うべき 4 つの活動】

「電気学術の発展と国際化への貢献」

「科学技術を担う多様な人材の創出、育成、活躍の促進」

「標準化・規格化による戦略的活動と提言」

「社会への情報発信と認知（プレゼンス）の向上」

### 1. 会員に関する事項【定款第 3 章】

- 平成 27 年度の会員数は、下表のように想定する。
- 会員制度の充実と会員増加策

継続して個人会員・事業維持員の会員増員・退会防止策を展開する。

項目	種別	名誉員 正員	准員	学生員	計	事業維持員
26 年 度 末 会 員 数		18,804	257	2,753	21,814	401 社 (2,590 口)
入 会 ・ 復 会 予 定		849	9	1,566	2,424	9 社 ( 20 口)
資 格 変 更		1,015	-19	-1,008	-12	—
退 会 予 測		-2,305	-13	-310	-2,628	-3 社 ( -3 口)
増 減		-441	-23	248	-216	6 社 ( 17 口)
27 年 度 末 会 員 数 ( 推 定 )		18,363	234	3,001	21,598	407 社 (2,607 口)

### 2. 役員等に関する事項【定款第 3, 5 章】

アンダーラインで平成 27 年度改選された方を示す。

- 平成 27 年度本部役員

理 事：大西公平（慶應義塾大学）  
 同 　：田中幸二（日立製作所）  
 同 　：市川弥生次（中部電力）  
 同 　：江口直也（富士電機）  
 同 　：新藤孝敏（電力中央研究所）  
 同 　：大山 力（横浜国立大学）  
 同 　：山本直幸（日立製作所）  
 同 　：大久保昌利（関西電力）  
 同 　：安田恵一郎（首都大学東京）  
 同 　：中本哲哉（東 芝）  
 専務理事：酒井祐之（電気学会）

部門担当理事（A 部門）：福永 香（情報通信研究機構）

同（B 部門）：福井伸太（東洋大学）

同（C 部門）：宮崎道雄（関東学院大学）

同（D 部門）：大山和伸（ダイキン工業）

同（E 部門）：田畑 修（京都大学）

支部担当理事（北海道支部）：小笠原悟司（北海道大学）

同（東北支部）：松木英敏（東北大学）

同（東京支部）：横田岳志（東 芝）

同（東海支部）：松村年郎（名古屋大学）

同（北陸支部）：長谷川俊行（北陸電力）

同（関西支部）：三浦良隆（関西電力）

同（中国支部）：田中俊彦（山口大学）

同 (四国支部)：服部哲郎 (香川大学)  
同 (九州支部)：匹田政幸 (九州工業大学)  
監 事：井上喜之 (ジェイ・パワーシステムズ)  
同 : 倉元政道 (明電舎)

(2) 平成 27 年度部門役員

A 部門

部 門 長：福永 香 (情報通信研究機構)  
編 修 長：匹田政幸 (九州工業大学)  
副部門長：上杉喜彦 (金沢大学)  
同 : 西川宏之 (芝浦工業大学)  
総務企画担当：一瀬 中 (電力中央研究所)  
同 : 原口 智 (東 芝)  
会計担当：菅 健一 (三菱電機)  
同 : 大嶽 敦 (日立製作所)  
編修担当：森武 洋 (防衛大学校)  
同 : 安岡康一 (東京工業大学)  
研究調査担当：山崎孝則 (ジェイ・パワーシステムズ)  
同 : 中川活二 (日本大学)  
監 事：田中康規 (金沢大学)  
同 : 石山和志 (東北大学)

B 部門

部 門 長：福井伸太 (東洋大学)  
副部門長：三谷康範 (九州工業大学)  
同 : 澄川俊雄 (東 芝)  
総務企画担当：宮本剛寿 (東 芝)  
同 : 楠見尚弘 (日立製作所)  
会計担当：坂井 明 (中部電力)  
同 : 太田裕二 (三菱電機)  
編修担当：福井 聡 (新潟大学)  
同 : 北内義弘 (電力中央研究所)  
研究調査担当：岡田有功 (電力中央研究所)  
同 : 勝野 徹 (富士電機)  
広報・国際化担当：関田昌弘 (電源開発)  
同 : 新井 裕 (明電舎)  
監 事：岡下 稔 (昭和電線ケーブルシステム)  
同 : 下田一彦 (関西電力)

C 部門

部 門 長：宮崎道雄 (関東学院大学)  
次期部門長：芹澤善積 (電力中央研究所)  
副部門長：下平 治 (日本電気)  
同 : 小坏成一 (千葉大学)  
総務企画担当：牧野利徳 (中部電力)  
同 : 田中竜太 (富士通研究所)  
会計担当：千田康博 (日本電気)  
同 : 小野俊之 (日立製作所)  
編修担当：亀井克之 (三菱電機)  
同 : 寺田賢治 (徳島大学)

研究調査担当：篠原和太郎 (東 芝)  
同 : 鈴木昌和 (東海大学)  
広報・情報化担当：宮澤秀毅 (明電舎)  
同 : 佐藤隆英 (山梨大学)  
国際化担当：中島慶人 (電力中央研究所)  
同 : 濱本和彦 (東海大学)  
監 事：村田博士 (電力中央研究所)  
同 : 松元藤彦 (防衛大学校)

D 部門

部 門 長：大山和伸 (ダイキン工業)  
和文論文誌編修長：村上俊之 (慶應義塾大学)  
英文論文誌編修長：大石 潔 (長岡技術科学大学)  
副部門長：井出一正 (日立製作所)  
同 : 森本雅之 (東海大学)  
総務企画担当：下村昭二 (芝浦工業大学)  
同 : 柴田昌明 (成蹊大学)  
会計担当：江口政樹 (シャープ)  
同 : 松本 康 (富士電機)  
編修広報担当：近藤圭一郎 (千葉大学)  
同 : 米谷晴之 (三菱電機)  
研究調査担当：川上紀子 (東芝三菱電機産業システム)  
同 : 小坂 卓 (名古屋工業大学)  
国際担当委員長：玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)  
国際担当副委員長：横山智紀 (東京電機大学)  
監 事：藤田英明 (東京工業大学)  
同 : 中沢洋介 (東 芝)

E 部門

部 門 長：田畑 修 (京都大学)  
副部門長：中本高道 (東京工業大学)  
同 : 野田和俊 (産業技術総合研究所)  
総務企画担当：工藤寛之 (明治大学)  
同 : 萱野公二 (神戸大学)  
会計担当：石井 仁 (豊橋技術科学大学)  
同 : 島岡敬一 (豊田中央研究所)  
編修担当：安部 隆 (新潟大学)  
同 : 藤田孝之 (兵庫県立大学)  
研究調査担当：小野崇人 (東北大学)  
同 : 山下 馨 (京都工芸繊維大学)  
監 事：栗山敏秀 (近畿大学)  
同 : 金範ジュン (東京大学)

(3) 平成 27 年度支部役員

△印は支所長を示す。

北海道支部

支 部 長：小笠原悟司 (北海道大学)  
総務企画幹事：田中俊光 (北海道電力)  
同 : 野口 聡 (北海道大学)

会計幹事：菅原吉隆（北海道電力）  
同：矢神雅規（北海道科学大学）  
協議員：一戸善弘（北海道工業大学）  
同：大場みち子（公立はこだて未来大学）  
小松正明（釧路工業高等専門学校）  
鈴木寛治（電源開発）  
関根ちひろ（室蘭工業大学）  
土田徳造（北海道旅客鉄道）  
奥村敦史（北海道電力）  
高橋理音（北見工業大学）  
竹本真紹（北海道大学）  
富田一臣（新日鐵住金）

監事：原亮一（北海道大学）

#### 東北支部

支部長：松木英敏（東北大学）  
総務企画幹事：杉田典大（東北大学）  
同：井澤和幸（東北電力）  
会計幹事：湯澤伸也（東北電力）  
同：栢修一郎（東北大学）  
協議員：阿部俊三（東北工業大学）  
同：岩井克全（仙台高等専門学校）  
郭海蛟（東北学院大学）  
△小林宏一郎（岩手大学）  
津田理（東北大学）  
中野春之（東北電力）  
三浦直人（東北電力）  
△渡部仁貴（日本大学）  
石井巧（東日本旅客鉄道）  
△熊谷誠治（秋田大学）  
佐藤文博（東北学院大学）  
佐藤正則（ユアテック）  
△花田一麿（八戸工業大学）  
△南谷靖史（山形大学）

監事：家名田敏昭（東北文化学園大学）

#### 東京支部

支部長：横田岳志（東芝）  
総務企画幹事：中島達人（東京電力）  
同：豊田充（東芝）  
会計幹事：天川正士（電力中央研究所）  
同：市野澤昌弘（日立製作所）  
協議員：青木秀憲（東海大学）  
同：秋谷安司（エクシム）  
飯坂達也（富士電機）  
飯塚俊夫（電源開発）  
△石川赴夫（群馬大学）  
石山仁（東京電機大学）  
大森尉公（日立製作所）  
小川正勝（東芝）  
桂誠一郎（慶應義塾大学）

小林正和（早稲田大学）  
△三枝幹雄（茨城大学）  
佐野常世（東京電力）  
二瓶展之（日立製作所）  
藤本博志（東京大学）  
三宅弘晃（東京都市大学）  
望月哲夫（三菱電機）  
△秋津哲也（山梨大学）  
△東剛人（宇都宮大学）  
池田弘一（電力中央研究所）  
△今田剛（新潟工科大学）  
△植原弘明（関東学院大学）  
小笠正道（鉄道総合技術研究所）  
△岡本保（木更津工業高等専門学校）  
川崎章司（明治大学）  
近藤圭一郎（千葉大学）  
下野誠通（横浜国立大学）  
鈴木勲（富士通テレコムネットワークス）  
楯尚史（日立金属）  
萩原誠（東京工業大学）  
△花倉満（明電舎）  
原徳幸（明電舎）  
東谷知幸（東京電力）  
藤木弘之（産業技術総合研究所）  
△松井章典（埼玉工業大学）  
向井正和（工学院大学）  
吉沢一郎（新日鐵住金）

監事：渡辺隆夫（電力中央研究所）

同：渡邊政美（三菱電機）

#### 東海支部

支部長：松村年郎（名古屋大学）  
総務企画幹事：加藤剛志（名古屋大学）  
同：吉田昌展（中部電力）  
会計幹事：関健太（名古屋工業大学）  
同：井上真澄（名城大学）  
協議員：飯田和生（三重大学）  
同：王道洪（岐阜大学）  
小林浩（トーエネック）  
鈴木進（日本ガイシ）  
道木慎二（名古屋大学）  
水野康宏（愛知電機）  
山中三四郎（名城大学）  
有賀信雄（シンフォニアテクノロジー）  
今中晶（三菱電機）  
櫻井庸司（豊橋技術科学大学）  
曾我哲夫（名古屋工業大学）  
曾根原誠（信州大学）  
滝波直樹（中部電力）

中村雅憲 (中部大学)  
蛭間淳之 (デンソー)  
光本真一 (豊田工業高等専門学校)  
森 竜雄 (愛知工業大学)  
米澤裕之 (富士電機)

監 事：中井英雄 (豊田中央研究所)

#### 北陸支部

支 部 長：長谷川俊行 (北陸電力)  
総務企画幹事：宮本 毅 (北陸電力)  
同 ：金邊 忠 (福井大学)  
会計幹事：川本 昂 (福井工業高等専門学校)  
同 ：松浦 進 (北陸電力)  
協議員：王 栄龍 (福井大学)  
同 ：金尾則一 (北陸電力)  
櫻井 豊 (富山高等専門学校)  
田中文章 (石川工業高等専門学校)  
直江伸至 (金沢工業高等専門学校)  
南保英孝 (金沢大学)  
池永訓昭 (金沢工業大学)  
大橋隼人 (富山大学)  
榊原一紀 (富山県立大学)  
高野浩一 (北陸電力)  
中尾一成 (福井工業大学)  
米澤出穂 (関西電力)

監 事：田中和幸 (富山大学)

#### 関西支部

支 部 長：三浦良隆 (関西電力)  
総務企画幹事：佐藤貴史 (関西電力)  
同 ：牛尾知雄 (大阪大学)  
会計幹事：浅利一成 (関西電力)  
同 ：高山聡志 (大阪府立大学)  
協議員：川畑良尚 (立命館大学)  
同 ：斎藤高廣 (住友電気工業)  
貞國仁志 (三菱電機)  
瀬越忠男 (パナソニック)  
永田正義 (兵庫県立大学)  
古谷栄光 (京都大学)  
森本健志 (近畿大学)  
吉村 勉 (大阪工業大学)  
大澤穂高 (関西大学)  
小田 昇 (関西鉄道協会)  
梶井博武 (大阪大学)  
黒木修隆 (神戸大学)  
瀧川琢雄 (西日本旅客鉄道)  
多田充宏 (関西電力)  
辻 昭彦 (日新電機)  
馬場一徳 (東 芝)  
平地克也 (舞鶴工業高等専門学校)  
湯川 勝 (ダイヘン)

吉門進三 (同志社大学)

監 事：大森敏明 (神戸大学)  
同 ：矢野 徹 (三菱電機)

#### 中国支部

支 部 長：田中俊彦 (山口大学)  
総務企画幹事：梅田健司 (中国電力)  
同 ：若佐裕治 (山口大学)  
会計幹事：杉原弘章 (中国電力)  
同 ：岡村幸壽 (中電技術コンサルタント)  
協議員：大木 誠 (鳥取大学)  
同 ：笠 展幸 (岡山理科大学)  
佐藤光廣 (中国電機製造)  
重國知之 (東ソー)  
関崎真也 (広島大学)  
日高良和 (宇部工業高等専門学校)  
渡邊修治 (松江工業高等専門学校)  
造賀芳文 (広島大学)  
中田俊司 (近畿大学)  
七戸 希 (岡山大学)  
丸谷祐司 (IFE スチール)  
監 事：永原勝典 (エネルギー・ライフ&アクセ  
ス)

#### 四国支部

支 部 長：服部哲郎 (香川大学)  
総務企画幹事：寺尾京平 (香川大学)  
同 ：加藤克巳 (新居浜工業高等専門学校)  
会計幹事：佐藤敬子 (香川大学)  
同 ：星野孝総 (高知工科大学)  
協議員：門脇一則 (愛媛大学)  
同 ：杉原庸貴 (住友共同電力)  
竹垣 晋 (四国総合研究所)  
太良尾浩生 (香川高等専門学校)  
北條昌秀 (徳島大学)  
大屋英稔 (徳島大学)  
尾崎良太郎 (愛媛大学)  
下川房男 (香川大学)  
竹田史章 (高知工科大学)  
松木寿夫 (三菱電機)  
森田倫弘 (四国電力)  
監 事：出口幹雄 (新居浜工業高等専門学校)

#### 九州支部

支 部 長：匹田政幸 (九州工業大学)  
総務企画幹事：井上昌睦 (九州大学)  
同 ：武居 周 (宮崎大学)  
会計幹事：松木隆典 (九州電力)  
同 ：阿辺政司 (九州電力)  
協議員：泉 勝弘 (有明工業高等専門学校)  
同 ：猪原 哲 (佐賀大学)  
今坂公宣 (九州産業大学)

岩熊成卓 (九州大学)  
川上知之 (三菱電機)  
佐久川貴志 (熊本大学)  
田邊 隆 (三菱重工業)  
△玉城史朗 (琉球大学)  
藤島友之 (長崎大学)  
持永大照 (新日鐵住金)  
吉江 修 (早稲田大学)  
青木振一 (崇城大学)  
浦崎直光 (琉球大学)  
金澤誠司 (大分大学)  
北崎 訓 (福岡工業大学)  
白土竜一 (九州工業大学)  
田中哲郎 (鹿児島大学)  
西田貴司 (福岡大学)  
久恒正希 (安川電機)  
横田光広 (宮崎大学)

監 事：中園耕一 (九州電力)

(4) 平成 27 年度代議員 (100 名)

任期は平成 26 年 2 月 28 日～2 年後に実施される代議員選挙終了の時まで

小豆畑茂 (日立製作所)  
阿部公哉 (東北電力)  
池田久利 (東京大学)  
生駒昌夫 (関西電力)  
石田篤志 (中部電気保安協会)  
伊瀬敏史 (大阪大学)  
磯嶋茂樹 (住友電気工業)  
市川弥生次 (中部電力)  
井上満夫 (三菱電機)  
井堀春生 (愛媛大学)  
海田英俊 (富士電機)  
梅野孝治 (豊田中央研究所)  
江口直也 (富士電機)  
大崎博之 (東京大学)  
大西公平 (慶應義塾大学)  
大山和伸 (ダイキン工業)  
大山 力 (横浜国立大学)  
小笠原悟司 (北海道大学)  
岡本達希 (電力中央研究所)  
柿川真紀子 (金沢大学)  
勝木 淳 (熊本大学)  
加藤剛志 (名古屋大学)  
河村篤男 (横浜国立大学)  
木村友則 (デンソー)  
久保 洋 (山口大学)  
栗原郁夫 (電力中央研究所)  
栗原雅幸 (電力計算センター)

酒井祐之 (電気学会)  
迫田達也 (宮崎大学)  
塩原亮一 (日立製作所)  
渋谷義一 (芝浦工業大学)  
清水敏久 (首都大学東京)  
新藤孝敏 (電力中央研究所)  
神保泰彦 (東京大学)  
杉田典大 (東北大学)  
鈴木博章 (筑波大学)  
芹澤善積 (電力中央研究所)  
造賀芳文 (広島大学)  
曾根光男 (東海大学)  
園田澄利 (安川電機)  
竹内 昭 (中電不動産)  
竹下隆晴 (名古屋工業大学)  
竹島尚弘 (関西電力)  
武田秀雄 (大同大学)  
武部俊郎 (東京電力)  
竹本泰敏 (日本工業大学)  
田所通博 (三菱電機)  
田中幸二 (日立製作所)  
田中秀治 (東北大学)  
田中哲司 (明電舎)  
田中俊彦 (山口大学)  
田邊 隆 (三菱重工業)  
玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)  
玉置 久 (神戸大学)  
土屋智由 (京都大学)  
土井美和子 (情報通信研究機構)  
戸田克敏 (東 芝)  
富田規嗣 (四国電力)  
中川聡子 (東京都市大学)  
永田 武 (広島工業大学)  
中谷義昭 (三菱電機)  
中村 正 (東 芝)  
難波雅之 (東京電力)  
西田直人 (東 芝)  
西村荘治 (日新電機)  
根葉保彦 (福岡大学)  
野口季彦 (静岡大学)  
白銀隆之 (関西電力)  
栢修一郎 (東北大学)  
長谷川俊行 (北陸電力)  
林 洋一 (青山学院大学)  
原 直紀 (富士通研究所)  
原 亮一 (北海道大学)  
原口芳徳 (テプコカスタマーサービス)  
久門尚史 (京都大学)  
日高邦彦 (東京大学)

平木英治 (岡山大学)  
福井伸太 (東洋大学)  
福永 香 (情報通信研究機構)  
藤島友之 (長崎大学)  
堀 洋一 (東京大学)  
前田照彦 (東芝産業機器システム)  
松木英敏 (東北大学)  
松村年郎 (名古屋大学)  
松本佳宣 (慶應義塾大学)  
真弓明彦 (北海道電力)  
三浦良隆 (関西電力)  
三國俊晴 (東北電力)  
宮崎道雄 (関東学院大学)  
宮道壽一 (元宇都宮大学)  
宮本 毅 (北陸電力)  
向山晋一 (古河電気工業)  
八坂保弘 (日立製作所)  
安田恵一郎 (首都大学東京)  
安野 卓 (徳島大学)  
山田敏雄 (TEPCO ネット)  
湯本雅恵 (東京都市大学)  
横山明彦 (東京大学)  
和田信吾 (ダイヘン)  
渡邊政美 (三菱電機)

(5) 平成 27 年度有識者会議委員 (69 名)

本部代表：池田久利 (東京大学)

同 　：生駒昌夫 (関西電力)  
一 枝 圭 祐 (三菱電機エンジニアリング)  
井上満夫 (三菱電機)  
大久保仁 (愛知工業大学)  
大崎博之 (東京大学)  
岡本達希 (電力中央研究所)  
栗原郁夫 (電力中央研究所)  
柵山正樹 (三菱電機)  
塩原亮一 (日立製作所)  
高木 勲 (トーエネック)  
竹内 昭 (中電不動産)  
土井美和子 (情報通信研究機構)  
中川聡子 (東京都市大学)  
西田直人 (東 芝)  
白銀隆之 (関西電力)  
林 洋一 (青山学院大学)  
日高邦彦 (東京大学)  
福田 隆 (関西電力)  
藤本 孝 (元東京電力)  
松瀬貢規 (明治大学)

部門代表：石田 誠 (豊橋技術科学大学)

同 　：清水敏久 (首都大学東京)

庄子習一 (早稲田大学)  
玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)  
原口芳徳 (テプコカスタマーサービス)  
福本 亮 (東 芝)  
松木英敏 (東北大学)

支部代表：秋山秀典 (熊本大学)

同 　：小豆畑茂 (日立製作所)  
石田篤志 (中部電気保安協会)  
作井正昭 (富山大学)  
菅原洋一 (住友電工ウインテック)  
鈴置保雄 (名古屋大学)  
玉置 久 (神戸大学)  
田村淳二 (北見工業大学)  
永田 武 (広島工業大学)  
平野敏彦 (九州電気保安協会)  
藤原憲一郎 (元高知工業高等専門学校)  
松岡秀夫 (中国電力)  
松木純也 (福井大学)  
真弓明彦 (北海道電力)  
矢萩保雄 (東北電力)  
山地幸司 (四国電力)  
横山明彦 (東京大学)

事業維持員代表：磯嶋茂樹 (住友電気工業)

同 　：伊藤泰之 (三菱電機)  
大島 洋 (九州電力)  
武部俊郎 (東京電力)  
田中幸二 (日立製作所)  
田中哲司 (明電舎)  
土井義宏 (関西電力)  
戸田克敏 (東 芝)  
中野春之 (東北電力)  
松浦昌則 (中部電力)  
松村基史 (富士電機)  
向山晋一 (古河電気工業)

役 員：市川弥生次 (中部電力)

同 　：井上喜之 (ジェイ・パワーシステムズ)  
江口直也 (富士電機)  
大久保昌利 (関西電力)  
大西公平 (慶應義塾大学)  
大山 力 (横浜国立大学)  
倉元政道 (明電舎)  
酒井祐之 (電気学会)  
新藤孝敏 (電力中央研究所)  
田中幸二 (日立製作所)  
中本哲哉 (東 芝)  
安田恵一郎 (首都大学東京)  
山本直幸 (日立製作所)

### 3. 会議等に関する事項【定款第4, 6章】

会議・委員会等を以下のとおり開催する。

#### (1) 通常総会

平成27年5月29日(金)に第103回通常総会を都市センターホテルにて開催予定。

#### (2) 理事会

年度内に6回開催予定。

#### (3) 各種会議・委員会等

各会議体・委員会は各事業体の事業計画に基づいて必要に応じ開催し、主要会議等は下記の回数を予定する。

有識者会議：1回

経営戦略会議：適宜

経営企画委員会：5回

#### ○総務企画関連

総務会議：5回

技術者教育委員会(部会等含む)：28回

広報委員会：5回

IEEJプロフェッショナル運営委員会：2回

倫理委員会：4回

表彰委員会：2回

顕彰委員会(小委員会含む)：9回

#### ○財務会計関連

会計会議：5回

#### ○編修出版関連

編修会議：4回

編修委員会(部会を含む)：27回

出版事業委員会(部会を含む)：9回

#### ○研究調査関連

研究調査会議：4回

全国大会委員会(小委員会含む)：4回

国際活動委員会：4回

男女共同参画推進委員会：5回

電気規格調査会：7.に記載する。

#### ○部門関連

部門役員会

A部門：4回, B部門：5回, C部門：5回,

D部門：5回, E部門：5回

#### ○支部関連

支部報告会：各支部1回

支部役員会：適宜

### 4. 研究発表会・講演会・講習会および見学会の開催に関する事項【定款第4条1号】

#### (1) 全国大会の充実

企画内容の充実とサービス向上をはかり講演者、聴講者の増加を目指す。

平成28年3月16日～18日東北大学にて開催予定。

#### (2) 一般社会向け公開シンポジウムの実施

社会ニーズに即したテーマを取り上げ、関連する委員

会等と連携して社会に向けて提言を行うなど、企画方法や支部と連携した各地での開催など開催方法も工夫しつつ実行していく。

開催検討テーマ：(仮)「電気エネルギーの未来を考える」

#### (3) 総合力を発揮した支部活動

本部・部門と連携しつつ地域に密着した活動を展開し、技術交流や技術研鑽の場の提供を通じ会員サービスに努め、あわせて会員増加を図る。また、これらの活動においてはIEEJプロフェッショナルの協力を得る。支部における講演会、講習会、見学会などの開催計画は下表のとおりである

支部	北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部連合大会等	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
一般向け	講演会	1	0	21	1	6	16	1	0	47
	講習会	2	0	1	0	0	2	3	3	11
	見学会	1	2	12	2	1	1	0	0	20
専門家向け	講演会	8	30	4	8	1	1	12	10	84
	講習会	1	0	10	2	1	4	3	2	24
	見学会	1	0	14	2	0	1	3	4	27
発表会関係	1	1	10	2	2	1	1	1	2	21
その他	1	6	36	15	3	9	6	1	20	97
計	17	40	109	33	15	36	30	22	38	340

#### (4) 総合力を発揮した部門活動

本部・支部と連携しつつ各部門の特徴やコア技術を生かしつつ、新規分野の取り込みや他部門他学協会との連携などの将来展開を考慮して活力ある活動を展開する。部門大会等の開催計画は次表のとおりである。

大会名	開催場所	開催日
A部門大会	金沢大学(石川)	2015.9.17～18
B部門大会	名城大学(愛知)	2015.8.25～27
C部門大会	長崎大学(長崎)	2015.8.26～29
D部門大会	大分大学(大分)	2015.9.2～4
E部門大会(センサ・マイクロマシンとその応用システムシンポジウム)	朱鷺メッセ(新潟)	2015.10.28～30

### 5. 会誌および図書の発行に関する事項【定款第4条2号】

#### (1) 電気学会誌・論文誌の更なる充実

学会誌は、広範囲な分野から分かりやすく読みやすい記事の企画・掲載に努める。また、新たなジャンルの記事も掲載する。

新電子投稿・査読システムの安定的な運用に努め、論文の査読期間の短縮を図る。

#### (2) 世界に向けて情報発信する体制の構築

共通英文論文誌(TEEE)のインパクトファクターの向上を目指して、効果が期待される方策を推進していく。また、D部門英文論文誌の円滑な発行を継続していく。

#### (3) 会誌の発行計画は以下のとおり。

(a) 学会誌

発行回数：12回  
年間発行ページ数：948 ページ（含広告）  
発行部数：約 27 万部／年  
掲載記事の企画は編修委員会で検討する。

(b) 論文誌（部門誌）

発行回数：12 回／部門  
ページ数は以下のとおり。D 部門は英文論文誌 D（年 6 回発行）を含む

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
ページ数	1,332	1,220	2,550	1,916	600	7,618

(c) 共通英文論文誌

発行回数：7 回（隔月発行および増刊号発行 1 回）  
ページ数：約 800 ページ

(4) 時代の動向や社会のニーズをとらえた出版推進

教科書の分量・内容・価格など教育現場に即した企画・出版を行い、採用増加を図る。また、電気広報特別委員会と連携した一般向け技術啓発書を刊行する。

教科書・専門書・啓発書・技術報告単行本で新刊 6 点の出版を目標とする。

(5) 教科書等の発行計画は以下のとおり。

(a) 教科書・専門書・技術啓発書・技術報告単行本

種別	教科書・専門書			技術啓発書			合計		
	新刊	重版	計	新刊	重版	計	新刊	重版	計
発行点数	5	24	29	1	0	1	6	24	30
発行部数	10,000	19,600	29,600	2,000	0	2,000	12,000	19,600	31,600

(b) 技術報告新刊

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
発行点数	6	9	6	11	0	32
発行部数	1,100	1,580	200	2,200	0	5,080

6. 調査・研究の実施に関する事項【定款第 4 条 3 号】

(1) 活動範囲の拡大

「電気システムセキュリティ特別技術委員会」の活動拡充を図るべく、下部に「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」、「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」、「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」、「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」、「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」の 5 専門委員会を設置し、具体的な活動を開始する。

(2) 災害に強い豊かな日本実現への貢献

電気技術を軸足に置き他学会との連携も強めながら、災害に強い豊かな日本の実現に向けた施策を検討する。

(3) 学術情報システムの円滑な運営と拡大

論文検索可能対象を研究会資料・大会論文にも拡大す

るための国立情報学研究所のシステム活用に加えて、海外からの研究会発表申込みを容易にするため、現状の日本語版研究会投稿システムに加えて、新たに英語版の投稿システムの運用を開始する。また、学会 HP における学術情報検索機能の強化を図る。

(4) 研究調査活動のための委員会活動は以下のとおり。

(a) 各種委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
運営委員会	4	4	5	4	5	22
技術委員会	40	40	55	56	13	204
専門委員会	140	134	155	240	25	694
研究会	60	32	50	55	7	204
合計	244	210	265	355	50	1,124

(b) 新設委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	10	9	21	20	2	62
合計	10	9	21	20	2	62

(c) 解散委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	10	11	21	13	2	57
合計	10	11	21	13	2	57

(d) 研究会発表論文件数

部 門	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
件 数	1,060	790	650	1,000	120	3,620

7. 標準の制定に関する事項【定款第 4 条 3 号】

電気機械器具及び材料などの標準化に関する事項を調査審議し、電気分野における標準化を通して、広く社会に貢献することを目的として、下記に重点を置き活動を推進する。

1. JEC 規格の制定・改正及び普及
2. IEC 規格に係わる審議
3. JIS 原案の作成
4. 国内外の標準化機関との協力及び連携
5. 電気規格調査会功績賞及び功労賞の顕彰
6. IEC 関連の国際会議日本開催及び国際会議旅費支援

具体的な計画に関しては下記を予定する。

(1) 委員会の開催数

会 議 名	開催数
規格委員会総会	1
規格役員会	6
標準化戦略委員会	6
表彰委員会	1
IEC 国際活動支援審査委員会	4
部会	15
標準化委員会・IEC 国内委員会	280
JIS 原案作成委員会	30
合 計	343



- (2) 標準規格の普及推進  
HP 等による情報公開の推進, JEC 規格の制定・改正に合わせた JEC 規格の講習会開催等を継続実施していく。
- (3) 国際標準規格の開発推進  
国内外標準化機関との協力及び連携をはかり, UHV 関連技術をはじめとし, 日本発の規格の国際標準化提案活動を引き続き推進する。
- (4) 事業維持員への広報の推進  
標準規格の制定・改正に参画された委員への感謝状の贈呈やその委員の事業維持員へのお礼状の発行などを実施する。

## 8. 功績の表彰に関する事項【定款第4条4号】

- (1) 電気技術顕彰制度「でんきの礎」の発展  
「でんきの礎」の第9回顕彰を実施する。全国大会での授賞式を継続開催し更なる周知拡大を図る。
- (2) 名誉員の推薦・フェローの充実  
名誉員資格条件を満たす者を, 名誉員として推薦する。  
また, フェローの認定を継続し拡大を図る。
- (3) 表彰  
功績賞1件, 業績賞6件および電気学術振興賞(進歩賞:9件, 論文賞:9件, 著作賞:1件), 優秀技術活動賞(技術報告賞:9件, グループ著作賞:1件以内), 特別活動賞:2件以内の表彰を行う。
- (4) 上級会員・IEEJ プロフェッショナルの認定  
電気技術の専門家で電気学会の諸活動への貢献があり, 申請基準を満たす会員を, 上級会員に認定する。  
IEEJ プロフェッショナルの活動範囲の拡大に対応すべく認定者の増大を図る。
- (5) 電気規格調査会表彰  
標準化活動への貢献者の表彰を行う。
- (6) 学術振興助成  
大会ならびに研究会における優秀論文の表彰  
賞A 部門大会・研究会の論文:80件  
賞B 全国大会・支部大会の論文:120件
- (7) 学術奨励賞  
高校・高専生の電気主任技術者試験合格者表彰制度の周知拡大を図り, 第5回表彰を実施する。

## 9. 教育に関する事項【定款第4条5号】

- (1) 技術者教育の着実な推進と体制の整備  
他団体(日本工学会 CPD 協議会, 電気電子・情報系 CPD 協議会, 日本技術士会等)と連携して CPD に関する情報収集・意見交換を行い, 会員に供する CPD 対象プログラムの拡大を図る。それと併行して CPD 部会は, 会員への CPD 活動支援継続を判断すべく, 会員が自ら CPD を行うべきと認識しているかどうか等, ニー

ズ調査を実施する。

- (2) JABEE 認定審査事業の着実な取り組み  
3分野において着実に認定審査を実施する。また, JABEE 審査員講習会を電気電子情報系分野の学会と共催で開催する。
- (3) IEEJ プロフェッショナル活動の拡大  
高齢化社会にマッチしたシニアパワーの活躍による学会活動の活性化に向けて, IEEJ プロフェッショナルの活動範囲の拡大, それら活動に対する支援の強化を検討する。
- (4) 技術者倫理教育に関する恒常的活動の推進  
技術者倫理研修会やフォーラムの開催, 技術者倫理事例集の販売促進など, 技術者倫理教育に対する支援を行う。
- (5) 若年層の科学・技術離れへの対応  
当会として活動可能な教育支援体制の形態の検討及び支援「電気学会寄付講義」を17校で開講する。  
初等中等教育を主な対象とする教育支援資金の活用推進を図る。  
日本工学会の「科学技術人材育成コンソーシアム」に積極的に参画し, 初等中等教育支援などの活動推進を図る。
- ## 10. 国内外の関係学術団体との協力および連携に関する事項【定款第4条6号】
- (1) 国際活動の積極的推進と国際活動が容易にできる仕組みの構築  
ICEE(電気技術国際会議)2015香港大会の開催と, ICEE 国際ジャーナルの的確な発行を行う。  
英文 HP の充実と活用推進を図る。  
国際的なステータス向上策の検討と海外学会等との連携方策の検討を行う。
- (2) 広範な学会活動の推進  
電気・情報関連学会連絡協議会などの電気関連学会や, 日本工学会, 日本機械学会, 日本技術士会, 日本学術会議との定例懇談会など関係団体との協議の場を継続し, 意見交換や諸活動の協調・連携を図る。
- (3) 国際交流助成  
対象 外国学会との交流で海外の研究者・技術者を招聘するための助成(最大10件)  
海外で開催される国際会議出席者に対する補助(最大20件)  
海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者への補助(最大4件)  
助成総額 156.2万円
- (4) 国際会議の主催  
当該会議の開催はなし
- (5) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援
- (6) 各種団体の研究助成候補者の推薦

## 11. その他法人運営に関する事項

### (1) 一般社団法人の的確な運営

平成 24 年度の一般社団法人へ移行後の新定款・細則等に基づき、法人運営を的確かつ円滑に行う。

公益目的支出計画の対象である事業を予算に基づき着実に実行する事で、公益目的支出計画を確実に実施する。

### (2) 創立 125 周年記念事業の継続

規程に基づき継続実施中の創立 125 周年記念事業を、総務会議を中心に着実に遂行する。

### (3) 新グランドデザインのアクションプランの検討、実施

理事会および経営企画委員会を中心に、平成 26 年 7 月 25 日理事会で仮決定したグランドデザイン～重点的に進める 4 つの活動～を具体的に推進するためのアクションプランについて、学会の魅力向上・会員メリット向上と、中長期的財政基盤の改善を考慮して検討してゆく。

具体的取り組みとしては、各事業の目的・性格等の明確化および自律的改善の促進、平成 27 年度収支予算の黒字化、月次予算管理の試行、平成 28 年度からの新予算方式の検討などを進めるとともに、将来を担う若手会員から意見要望を抽出して事業に反映する仕組みを構築してゆく。

### (4) 広報の充実

経営企画委員会、広報委員会等が連携して、HP の一層の改良やメルマガの活用、定期的なプレスリリースなどマスコミの活用を含めた効果的な広報活動を推進する。

### (5) 社会への発信力の強化

電気学会諸活動の見える化を進め、将来の電力・エネルギーシステムに関する提言などをタイムリーに発信していく。

### (6) キャンペーン月間「でんきの月」の発展

キャンペーン月間「でんきの月」に関する広報・啓発活動を活発に行い、引き続き第 5 回イベントを検討する。

### (7) IT システムの整備充実

平成 24 年度の電子投票システム導入、平成 26 年度の学会ホームページ全面リニューアルに続き、平成 27 年度から平成 28 年度にかけて会員サービス向上、事務経費削減に向けた会員システムの全面更新を進める。

### (8) シニアパワーの活躍

高齢化社会に対応し IEEJ プロフェッショナルの拡大をはじめとし、シニア層にポイントを絞った事業の創出や会員減少対策などを引き続き検討する。

以上

# 平成 27 年度収支予算

## 収支予算書集約表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
[事業活動収支の部]					
[事業活動収入]					
特定資産運用収入		7,148			7,148
会費・入会金収入	249,329				249,329
事業収入	490,825		12,070		502,895
補助金等収入	12,170		2,731		14,901
雑収入	8,262		133	△ 480	7,915
他会計からの繰入金収入	2,752		24,926	△ 27,678	0
事業活動収入計	763,338	7,148	39,860	△ 28,158	782,188
[事業活動支出]					
事業費支出	543,158	4,106	25,387		572,651
管理費	166,185		15,216	△ 480	180,921
他会計への繰入金支出	24,636	3,042		△ 27,678	0
事業活動支出計	733,979	7,148	40,603	△ 28,158	753,572
事業活動収支差額	29,359	0	△ 743	0	28,616
[投資活動収支の部]					
[投資活動収入]					
特定資産取崩収入	59,011	1,460			60,471
他会計からの繰入金収入			1,460	△ 1,460	0
投資活動収入計	59,011	1,460	1,460	△ 1,460	60,471
[投資活動支出]					
特定資産取得支出	29,300				29,300
固定資産取得支出	56,120				56,120
他会計への繰入金支出		1,460		△ 1,460	0
投資活動支出計	85,420	1,460	0	△ 1,460	85,420
投資活動収支差額	△ 26,409	0	1,460	0	△ 24,949
[予備費支出]	0		26		26
当期収入合計	822,349	8,608	41,320	△ 29,618	842,659
当期支出合計	819,399	8,608	40,629	△ 29,618	839,018
当期収支差額	2,950	0	691	0	3,641
前期繰越収支差額	105,458	1,518	41,159		148,135
次期繰越収支差額	108,408	1,518	41,850		151,776

収支予算書総括表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
〔事業活動収支の部〕					
〔事業活動収入〕					
【特定資産運用収入】	[ 0]	[ 7,148]	[ 0]	[ 0]	[ 7,148]
賞金基金利息収入		381			381
桜井基金利息収入		337			337
国際交流基金利息収入		1,608			1,608
学術振興基金利息収入		4,151			4,151
支部会計基金利息収入		343			343
公開シンポジウム基金利息収入		328			328
【会費・入会金収入】	[ 249,329]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 249,329]
正員会費収入	157,456				157,456
准員会費収入	762				762
学生会員収入	12,211				12,211
入会金収入	690				690
事業維持委員会費収入	78,210				78,210
【事業収入】	[ 490,825]	[ 0]	[ 12,070]	[ 0]	[ 502,895]
学会誌収入	25,798				25,798
論文誌収入	134,150				134,150
図書収入	97,512				97,512
全国大会収入	37,433				37,433
部門大会収入	49,850				49,850
研究調査収入	59,965				59,965
支部大会収入			2,843		2,843
連合大会収入			4,120		4,120
セミナー・シンポジウム収入	14,620		5,107		19,727
技術者教育事業収入	10,917				10,917
電気規格調査収入	60,580				60,580
【補助金等収入】	[ 12,170]	[ 0]	[ 2,731]	[ 0]	[ 14,901]
補助金等収入	12,170		2,731		14,901
【雑収入】	[ 8,262]	[ 0]	[ 133]	[ △ 480]	[ 7,915]
受取利息収入	30		8		38
その他収入	8,232		125	△ 480	7,877
【他会計からの繰入金収入】	[ 2,752]	[ 0]	[ 24,926]	[ △ 27,678]	[ 0]
一般会計からの繰入金収入			24,636	△ 24,636	0
特別会計からの繰入金収入	2,752		290	△ 3,042	0
事業活動収入計	763,338	7,148	39,860	△ 28,158	782,188
〔事業活動支出〕					
【事業費支出】	[ 543,158]	[ 4,106]	[ 25,387]	[ 0]	[ 572,651]
学会誌出版費	83,297				83,297
論文誌出版費	87,526				87,526
図書出版費	82,199				82,199
全国大会費	30,552				30,552
部門大会費	51,592				51,592
研究調査委員会費	67,740				67,740
支部大会費			4,209		4,209
連合大会費			5,945		5,945
セミナー・シンポジウム費	23,720		13,902		37,622
技術者教育事業費	24,372				24,372
電気規格調査費	68,385				68,385
部門活動費	11,243				11,243
(注) 表彰費	12,532		1,331		13,863
賞金基金支出		76			76
桜井基金(海外派遣)補助支出		337			337
国際会議交流補助支出		1,608			1,608
学術振興表彰等助成支出		1,965			1,965
支部会計基金支出		53			53
公開シンポジウム基金支出		67			67
【管理費支出】	[ 166,185]	[ 0]	[ 15,216]	[ △ 480]	[ 180,921]
人件費	59,413				59,413
事務費	57,327		15,216	△ 480	72,063
事務所費	49,445				49,445
【他会計への繰入金支出】	[ 24,636]	[ 3,042]	[ 0]	[ △ 27,678]	[ 0]
一般会計への繰入金支出		2,752		△ 2,752	0
支部会計への繰入金支出	24,636	290		△ 24,926	0
事業活動支出計	733,979	7,148	40,603	△ 28,158	753,572
事業活動収支差額	29,359	0	△ 743	0	28,616
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
【特定資産取崩収入】	[ 59,011]	[ 1,460]	[ 0]	[ 0]	[ 60,471]
特定資産取崩収入	59,011	1,460			60,471
【他会計からの繰入金収入】	[ 0]	[ 0]	[ 1,460]	[ △ 1,460]	[ 0]
特別会計からの繰入金収入			1,460	△ 1,460	0
投資活動収入計	59,011	1,460	1,460	△ 1,460	60,471
〔投資活動支出〕					
【特定資産取得支出】	[ 29,300]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 29,300]
特定資産取得支出	29,300				29,300
【固定資産取得支出】	[ 56,120]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 56,120]
特定資産取得支出	56,120				56,120
【他会計への繰入金支出】	[ 0]	[ 1,460]	[ 0]	[ △ 1,460]	[ 0]
支部会計への繰入金支出		1,460		△ 1,460	0
投資活動支出計	85,420	1,460	0	△ 1,460	85,420
投資活動収支差額	△ 26,409	0	1,460	0	△ 24,949
〔予備費支出〕	0	0	26		26
当期収支差額	2,950	0	691	0	3,641
前期繰越収支差額	105,458	1,518	41,159		148,135
次期繰越収支差額	108,408	1,518	41,850		151,776

(注)科目名を賞金費から表彰費へ変更

一般会計 収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【会費・入会金収入】	[ 249,329]	[ 254,606]	[ △ 5,277]	
正員会費収入	157,456	162,917	△ 5,461	
准員会員収入	762	876	△ 114	
学生会員収入	12,211	12,803	△ 592	
入会金収入	690	730	△ 40	
事業維持員会費収入	78,210	77,280	930	
【事業収入】	[ 490,825]	[ 502,742]	[ △ 11,917]	
学会誌収入	25,798	27,080	△ 1,282	
論文誌収入	134,150	130,366	3,784	
(注1) 図書収入	97,512	114,587	△ 17,075	
全国大会収入	37,433	32,723	4,710	
部門大会収入	49,850	46,727	3,123	
研究調査収入	59,965	69,689	△ 9,724	
セミナー・シンポジウム収入	14,620	61,103	△ 46,483	
技術者教育事業収入	10,917	9,547	1,370	
(注1) 電気規格調査収入	60,580	10,920	49,660	
【補助金等収入】	[ 12,170]	[ 22,520]	[ △ 10,350]	
補助金等収入	12,170	22,520	△ 10,350	
【雑収入】	[ 8,262]	[ 4,420]	[ 3,842]	
受取利息収入	30	20	10	
その他収入	8,232	4,400	3,832	
【他会計からの繰入金収入】	[ 2,752]	[ 2,773]	[ △ 21]	
特別会計からの繰入金収入	2,752	2,773	△ 21	
事業活動収入計	763,338	787,061	△ 23,723	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	[ 543,158]	[ 603,687]	[ △ 60,529]	
学会誌出版費	83,297	88,000	△ 4,703	
論文誌出版費	87,526	90,464	△ 2,938	
(注1) 図書出版費	82,199	99,530	△ 17,331	
全国大会費	30,552	29,100	1,452	
部門大会費	51,592	49,947	1,645	
研究調査委員会費	67,740	69,785	△ 2,045	
セミナー・シンポジウム費	23,720	85,877	△ 62,157	
技術者教育事業費	24,372	33,375	△ 9,003	
(注1) 電気規格調査費	68,385	29,854	38,531	
部門活動費	11,243	11,020	223	
(注2) 表彰費	12,532	16,735	△ 4,203	
【管理費支出】	[ 166,185]	[ 185,732]	[ △ 19,547]	
人件費	59,413	67,568	△ 8,155	
事務費	57,327	68,226	△ 10,899	
事務所費	49,445	49,938	△ 493	
【他会計への繰入金支出】	[ 24,636]	[ 25,439]	[ △ 803]	
支部会計への繰入金支出	24,636	25,439	△ 803	
事業活動支出計	733,979	814,858	△ 80,879	
事業活動収支差額	29,359	△ 27,797	57,156	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	[ 59,011]	[ 33,997]	[ 25,014]	
特定資産取崩収入	59,011	33,997	25,014	
投資活動収入計	59,011	33,997	25,014	
〔投資活動支出〕				
【特定資産取得支出】	[ 29,300]	[ 5,700]	[ 23,600]	
特定資産取得支出	29,300	5,700	23,600	
【固定資産取得支出】	[ 56,120]	[ 0]	[ 56,120]	
固定資産取得支出	56,120	0	56,120	
投資活動支出計	85,420	5,700	79,720	
投資活動収支差額	△ 26,409	28,297	△ 54,706	
〔予備費支出〕				
当期収支差額	2,950	500	2,450	
前期繰越収支差額	105,458	102,343	3,115	
次期繰越収支差額	108,408	102,843	5,565	

(注1) JEC図書予算を図書から電気規格調査に振替

(注2) 科目名を賞金費から表彰費へ変更

特別会計 収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【特定資産運用収入】	[ 7,148]	[ 7,058]	[ 90]	
賞金基金利息収入	381	372	9	
桜井基金利息収入	337	294	43	
国際交流基金利息収入	1,608	1,498	110	
学術振興基金利息収入	4,151	3,921	230	
支部会計基金利息収入	343	377	△ 34	
公開シンポジウム基金利息収入	328	596	△ 268	
事業活動収入計	7,148	7,058	90	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	[ 4,106]	[ 3,966]	[ 140]	
賞金基金支出	76	74	2	
桜井基金(海外派遣)補助支出	337	294	43	
国際会議交流補助支出	1,608	1,498	110	
学術振興表彰等助成支出	1,965	1,921	44	
支部会計基金支出	53	58	△ 5	
公開シンポジウム基金支出	67	121	△ 54	
【他会計への繰入金支出】	[ 3,042]	[ 3,092]	[ △ 50]	
一般会計への繰入金支出	2,752	2,773	△ 21	
支部会計への繰入金支出	290	319	△ 29	
事業活動支出計	7,148	7,058	90	
事業活動収支差額	0	0	0	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	[ 1,460]	[ 1,490]	[ △ 30]	
特定資産取崩収入	1,460	1,490	△ 30	
投資活動収入計	1,460	1,490	△ 30	
〔投資活動支出〕				
【他会計への繰入金支出】	[ 1,460]	[ 1,490]	[ △ 30]	
支部会計への繰入金支出	1,460	1,490	△ 30	
投資活動支出計	1,460	1,490	△ 30	
投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	1,518	1,232	286	
次期繰越収支差額	1,518	1,232	286	

支費予算合計表

(平成27年4月1日より平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	全支部合計										支部別予算				
	予算額	前年度予算額	増減	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州			
【事業活動収支の部】															
【事業活動収入】	12,070	14,260	△ 2,190	2,002	50	4,893	80	2,470	1,300	980	135	160			
支那大会収入	2,843	2,546	297	0	0	2,843	0	0	0	0	0	0			
連合大会収入	4,120	6,230	△ 2,110	1,930	0	0	0	2,120	0	0	70	0			
セミナー・シンポジウム収入	5,107	5,484	△ 377	72	50	2,050	80	350	1,300	980	65	160			
【補助金等収入】	2,731	2,331	400	0	0	1,431	0	900	0	400	0	0			
補助金等収入	2,731	2,331	400	0	0	1,431	0	900	0	400	0	0			
【雑収入】	133	132	1	1	0	3	80	46	1	2	0	0			
受取利息	8	7	1	1	0	3	0	1	1	2	0	0			
その他収入	125	125	0	0	0	0	80	45	0	0	0	0			
【他会計からの繰入金収入】	24,926	25,758	△ 832	1,357	1,673	4,700	1,545	4,472	5,092	2,032	1,359	2,696			
一般会計からの繰入金収入	24,636	25,439	△ 803	1,357	1,673	4,700	1,545	4,472	5,092	1,742	1,359	2,696			
特別会計からの繰入金収入	290	319	△ 29	0	0	0	0	0	0	290	0	0			
事業活動収入計	39,860	42,481	△ 2,621	3,360	1,723	11,027	1,705	7,888	6,393	3,414	1,494	2,856			
【事業活動支出】	25,387	29,655	△ 4,268	2,736	1,157	8,933	1,272	4,718	2,456	2,243	698	1,174			
支那大会費	4,209	4,142	67	0	0	4,209	0	0	0	0	0	0			
連合大会費	5,945	8,263	△ 2,318	1,936	199	0	190	2,566	556	248	0	250			
セミナー・シンポジウム費	13,902	15,626	△ 1,724	712	920	4,608	1,030	1,742	1,700	1,927	583	680			
(注1)表彰費	1,331	1,624	△ 293	88	38	116	52	410	200	68	115	244			
【管理費】	15,216	17,049	△ 1,833	624	582	1,802	433	2,799	5,397	1,121	796	1,682			
事務費	15,216	17,049	△ 1,833	624	582	1,802	433	2,799	5,397	1,121	796	1,682			
【他会計への繰入金支出】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
一般会計への繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
事業活動支出計	40,603	46,704	△ 6,101	3,360	1,719	10,735	1,705	7,517	7,853	3,364	1,494	2,856			
事業活動収支差額	△ 743	△ 4,223	3,480	0	4	292	0	371	△ 1,460	50	0	0			
【投資活動収支の部】															
【投資活動収入】	1,460	1,490	△ 30	0	0	0	0	0	1,460	0	0	0			
【他会計からの繰入金収入】	1,460	1,490	△ 30	0	0	0	0	0	1,460	0	0	0			
特別会計からの繰入金収入	1,460	1,490	△ 30	0	0	0	0	0	1,460	0	0	0			
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	1,460	0	0	0			
投資活動支出計	1,460	1,490	△ 30	0	0	0	0	0	1,460	0	0	0			
投資活動収支差額	26	76	△ 50	0	0	26	0	0	0	0	0	0			
【予備費支出】	691	△ 2,809	3,500	0	4	266	0	371	0	50	0	0			
当期収支差額	41,159	41,810	△ 651	1,873	2,735	13,681	1,144	6,952	877	5,419	3,243	5,235			
(注2)前期繰越収支差額	41,850	39,001	2,849	1,873	2,739	13,947	1,144	7,323	877	5,469	3,243	5,235			

(注1)科目名を賞金・表彰費から表彰費へ変更

(注2)前期繰越収支差額は支部ごとに千円未満を四捨五入しているため、前期繰越収支差額および次期繰越収支差額は、支部ごとに加算した数値と全支部合計の数値とは異なる場合がある。

一般社団法人 電気学会 平成 26 年度 事 業 報 告  
〃 決 算 報 告  
公益目的支出計画実施報告書  
監 査 報 告 書  
平成 27 年度 事 業 計 画  
〃 収 支 予 算

平成 27 年 5 月 29 日

一般社団法人 電 気 学 会

〒 102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 Homat Horizon ビル 8 階

電 話 03-3221-7312 (代表)